USB ハードディスク

DUB-GT シリーズ

ユーザーズマニュアル

Q&A インターネットで弊社製品のQ&A情報を入手できます。
http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

- Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
  C:ハードディスク
  D:CD-ROMドライブ
- 文中[ ]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- 本書に記載されているハードディスク容量は、1GB＝1000^{3}byteで計算しています。OSやアプリケーションでは、1GB＝1024^{3}byteで計算されているため、表示される容量が異なります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：感電注意)が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電、故障する恐れがあります。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品は精密機器です。衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。衝撃は本製品の故障の原因となります。

禁 止

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用するとショートしたり、発煙や火災の恐れがあります。

禁 止

濡れた手で本製品に触れないでください。

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても故障の原因となります。

禁 止

電源コードを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、電源コードを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしなでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱したりしないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源コードを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源コードが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

強 制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

強 制

ACアダプタ、USBケーブルは必ず本製品付属のものをご使用ください。

本製品付属以外のACアダプタ、USBケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

強制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

⚠ 注意

禁止

ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータの格納用機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットしたりしないでください。

データを消失、破損する恐れがあります。データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

禁止

通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。

禁止

アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしたりしないでください。

禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

強制

電源スイッチのON/OFFは、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。

本製品の故障、データの消失、破損の恐れがあります。

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。

・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障、修理などのとき
・パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
・天災による被害を受けたとき

上記の場合、またその他いかなる場合でも、データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべてMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界や静電気が発生するところ
・直射日光が当たるところ
・ほこりの多いところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。
・漏電または漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

はじめに

ハードディスクを使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特徴

- **USBポート(シリーズA)に接続可能**
  パソコンやUSBハブのUSBポート(シリーズA)に接続できます。
  ※ USBポートが装備されていないパソコンを使用している場合は、別売の弊社製USBボードUCI-P2を使用してください。

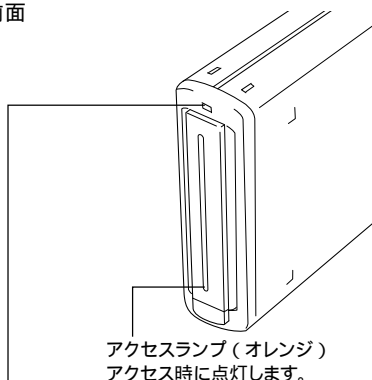
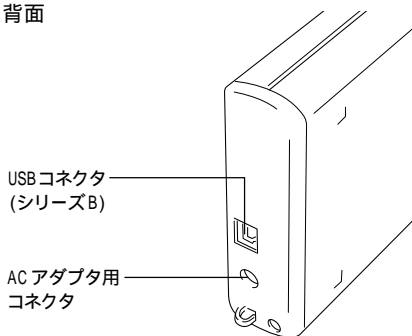
- **プラグ&プレイ、ホットプラグに対応**
  本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。
  ※ ただし、ケーブルを抜く際は、必ず定められた手順に従って作業してください。【P14「ハードディスクの取り外しかた」】

- **本製品は起動用ハードディスクとしては使用できません(OSを起動できません)。あらかじめご了承ください。**

- **パスワードによるロックが可能(セキュリティ・ロック機能)**
  付属の「セキュリティロック・ユーティリティ」を使用すれば、本製品へのアクセスを、パスワードによって制限(ロック)することができます。ロックされた状態では本製品がパソコンに認識されないため、他人によってデータを消されたり、覗かれたりすることを防ぐことができます。**【別冊「セキュリティロック・ユーティリティの使いかた」参照】**

  ⚠注意 **セキュリティ・ロック機能は、ロックしたハードディスクの機密性を完全に保証するものではありません。あらかじめご了承ください。**

各部の名称

● **前面**

● **背面**

付属品の確認は別冊の「はじめにお読みください」を参照してください。

2 セットアップ

ハードディスクのセットアップ手順を説明しています。

セットアップのながれ

ハードディスクのセットアップ手順は次のとおりです。

＜Windows搭載パソコン＞　＜Macintosh＞

メモ 詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

＜Windows搭載パソコン＞

ハードディスクのACアダプタ用コネクタにACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

付属のCD-ROM「DUB-GTシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットする(*)

▼

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って操作する

▼

＜Macintosh＞

ハードディスクのACアダプタ用コネクタにACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

ドライバをインストールする【P10】

▼

ハードディスクにUSBケーブルを接続する

▼

パソコンにUSBケーブルを接続する

▼

- WindowsMe/98を使用している場合 .. Disk Formatterでハードディスクをフォーマットする【P16】
- Windows2000を使用している場合 ... OSのフォーマット機能でハードディスクをフォーマットする【P17】
- Macintoshを使用している場合 ...... パーティションを作成してハードディスクをフォーマットする【P22】

※ ハードディスクは、物理フォーマットだけが行われた状態で出荷されています。使用する前に必ず論理フォーマットしてください。

※ 付属の「セキュリティロック・ユーティリティ」の使い方は、別冊「セキュリティロック・ユーティリティの使いかた」を参照してください。

* CD-ROMドライブのないパソコンを使用しているときは、付属のフロッピーディスク「DUB-GTシリーズユーティリティディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入し、フロッピーディスク内の「EASYSETUP.EXE」ファイルをダブルクリックしてください。

● PC98-NXシリーズを使用しているときは、CyberTrio-NXが「アドバンストモード」になっていることを確認してください。
アドバンストモードになっていないと、本製品のドライバをインストールできないことがあります。次の手順でアドバンストモードに変更してください。

・モードの確認方法
タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。
① [スタート]−[プログラム(P)]−[CyberTrio-NX]−[Go To アドバンストモード]の順に選択します。アドバンストモードに切り替わります。
② [スタート]−[プログラム(P)]−[CyberTrio-NX]−[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。
③ [CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後は、アドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

● Windows98(Second Editionを除く)を使用しているときは、次の確認を行ってください。
① [マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。
②メニューが表示されたら、[プロパティ(R)]をクリックします。
③ [デバイスマネージャ]タブをクリックします。
④ [ユニバーサルシリアル バス コントローラ]の下に表示されているデバイス名を確認します。

[NEC PCI to USB Open Host Controller]と表示されている場合は、Windows98サービスパック1をインストールする必要があります。その他のデバイス名が表示されている場合は、サービスパックのインストールは不要です。

※ Windows98サービスパック1は、マイクロソフト社のホームページ(http://www.microsoft.com/japan/)からダウンロードできます。

● Windows2000を使用している場合、セットアップ中に[新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の[完了]ボタンをクリックしてください。
「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

Windows搭載パソコンでのセットアップ手順

付属のユーティリティ「簡単セットアップ」の指示に従ってセットアップを行います。詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

メモ　本製品のドライバがインストールされると、[デバイス　マネージャ]に次のデバイスが追加されます。
WindowsMe/98 .... [ユニバーサル　シリアル　バス　コントローラ]内に[USB-IDE Bridge Adapter with Security]が追加されます。
Windows2000 .... [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]内に[USB-IDE Bridge Adapter with Security]が追加されます。

※ [デバイス　マネージャ]は次の方法で表示できます。
WindowsMe/98 ..... [マイ コンピュータ]アイコンを右クリック→[プロパティ(R)]をクリック→[デバイス　マネージャ]をクリック
Windows2000 ...... [マイ コンピュータ]アイコンを右クリック→[管理(G)]をクリック→[デバイス　マネージャ]をクリック

次へ　ハードディスクをフォーマットします。【P16「フォーマットのしかた」】

注意　**ハードディスクは出荷時に物理フォーマットだけが行われた状態で出荷されています。使用する前に必ず論理フォーマットを行ってください。**

Macintoshでのセットアップ手順

本製品を使用するために必要なソフトウェアをインストールし、パソコンにハードディスクを接続します。

注意
- **本製品をパソコンに接続する前に、付属のCD-ROM「DUB-GTシリーズユーティリティCD」を使って、付属のソフトウェアを必ずインストールしてください。**
- **付属のソフトウェアをインストールする前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。**
- **別紙「はじめにお読みください」を参照して、あらかじめハードディスクに縦置き用スタンド(またはゴム足)、イルミネーションパーツ、ACアダプタを取り付けておいてください。**

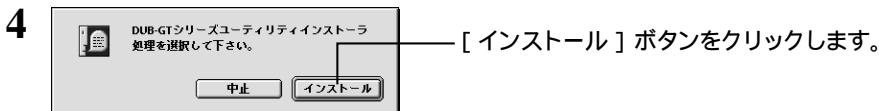
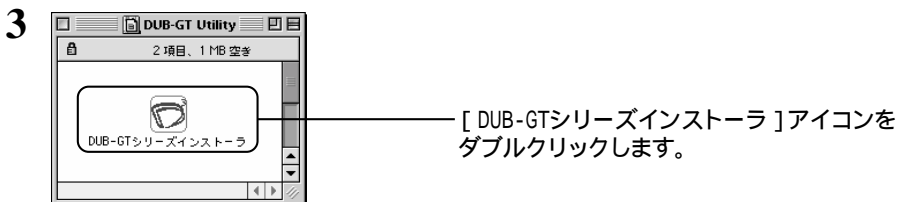
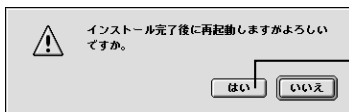
1 **パソコンの電源スイッチをONにします。**

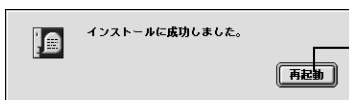
2 **付属のCD-ROM「DUB-GTシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。**

3

[DUB-GTシリーズインストーラ] アイコンをダブルクリックします。

4

[インストール] ボタンをクリックします。

5

［はい］ボタンをクリックします。

6

［再起動］ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。

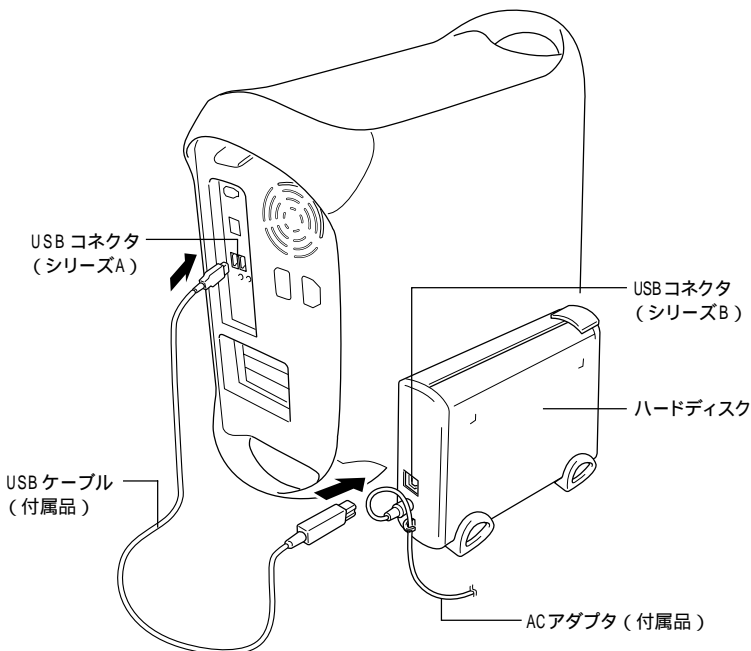
7 **付属のUSBケーブルをハードディスクのUSBコネクタに接続します。**

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

＜USBケーブルのコネクタ形状＞

シリーズA
（パソコン側に接続）

シリーズB
（ハードディスクに接続）

8 **パソコンのUSBコネクタ（シリーズA）にUSBケーブルを接続します。**

以上でハードディスクの接続は完了です。

次へ パーティションのサイズを指定し、ハードディスクをフォーマットします。【P16「フォーマットのしかた」】

⚠注意 ハードディスクは出荷時に物理フォーマットだけが行われた状態で出荷されています。使用する前に必ず論理フォーマットを行ってください。

2 セットアップ

3 使いかた

使用上の注意

⚠注意
・本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。
・本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にUSBケーブルやACアダプタを抜いたり、パソコンの電源スイッチをOFFにしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
・パソコン本体の省電力モード（サスペンド、レジューム、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。

● PC連動AUTO電源機能について
・本製品には電源スイッチはありません。USBから電源が供給されると電源がONになります。
・本製品は必ず付属のACアダプタを接続して使用してください。USBからの電源供給だけでは、ハードディスクは使用できません。
・パソコンの電源スイッチをOFFにしてからハードディスクのパワーランプが消えるまでに、時間がかかることがあります。
・ACアダプタ付きのUSBハブにハードディスクを接続した場合、パソコンの電源スイッチをOFFにしてもハードディスクのパワーランプは消えません。USBハブの電源をOFFにするか、USBハブからハードディスクを取り外してください。
・複数のUSB機器と併用したいときは、弊社製USBハブUHB-S7/S4（別売）などを使用してください。

メモ 複数のUSBハブをカスケード接続すれば、最大127台まで（USBハブを含む）USB機器を接続できます。カスケードの段数は最大5段です。ただし、接続するUSB機器の組み合わせによって、接続できるUSB機器の台数は異なります。

● 本製品を使用する前に必ずフォーマット（初期化）してください。【P16】

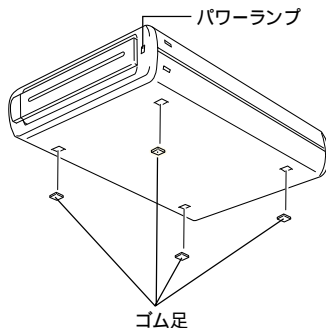
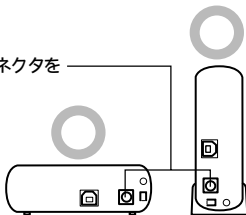
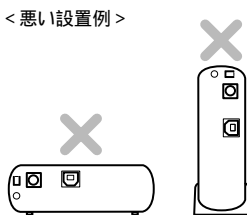
● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONのときでもUSBケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P14「ハードディスクの取り外しかた」】

⚠注意 ハードディスクにアクセスしているとき（アクセスランプが点灯しているとき）は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。ハードディスク内のデータが破損するおそれがあります。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品からOSを起動することはできません。

● 本製品を横置きにする場合
付属のゴム足（4個）を本製品の底面のくぼみに貼り付けてください。
ゴム足には両面テープが付いています。

⚠注意
・ゴム足を付けるとスタンドが取り付けられなくなるため、本製品を縦置きできなくなります。
・右図のとおりにゴム足を取り付けてください。

● 本製品は次のように設置してください（図は背面から見たところです）。

⚠注意 動作中にハードディスクを移動させたり、設置方向を変えないでください。ハードディスクの破損の原因となります。

● 本製品のセキュリティ・ロック機能を使ってロックしている状態では、OSから本製品を認識できません。

● WindowsMe/98付属のドライブスペース3は使用しないでください。
パソコンの動作が不安定になるおそれがあります。

● Macintoshでリカバリするときは、本製品を取り外してください。
取り外さないとリカバリできません。

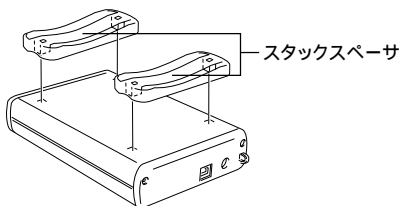
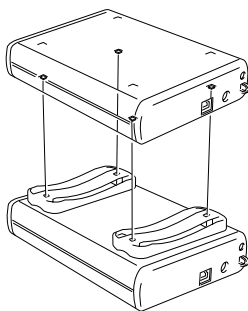
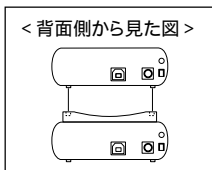
● ハードディスクの動作時、特に起動時やアクセス時、リトラクト時などに音がすることがありますが、問題ありません。

本製品を積み重ねる場合

付属のスタックスペーサを使用して、横置きにした本製品を合計 3 台まで積み重ねることができます。

⚠注意 合計4台以上積み重ねないでください。積み重ねた本製品が倒れやすくなります。倒れた場合、衝撃により故障する恐れがあります。

1 本製品すべてに、ゴム足（4個）を取り付けます。【別紙「はじめにお読みください」参照】

2 本製品上面のくぼみに合わせて、スタックスペーサ（2個）を載せます。

3 上に重なる本製品のゴム足をスタックスペーサのくぼみに合わせて載せます。

**メモ 弊社製MOiFシリーズ、DiF-GTシリーズ、DSC-GTシリーズ、MOS-S640Rも積み重ねられます。
弊社製MOU-Rシリーズは積み重ねられません。**

ハードディスクの取り外しかた

パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順でハードディスクを取り外します。

メモ　パソコンの電源スイッチがOFFの時は、そのまま取り外せます。

WindowsMe/98

⚠注意　必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにハードディスクを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

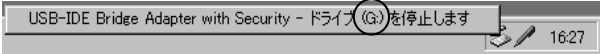
1　タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2

［USB-IDE Mass Strage Controller with Securityの取り外し］をクリックします。

3

［OK］ボタンをクリックします。

4　ハードディスクを取り外します。

Windows2000

⚠注意　必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにハードディスクを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

1　タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2　メニューが表示されたら、[USB-IDE Bridge Adapter with Security - ドライブ(X:)を停止します]をクリックします。

下線部には、ハードディスクに割り当てられたドライブ名が表示されます。

ハードディスクに割り当てられているドライブ名が表示されます。

3 ハードウェアの取り外し
'USB-IDE Bridge Adapter with Security' は安全に取り外すことができます。
OK

［OK］ボタンをクリックします。

4 ハードディスクを取り外します。

Macintosh

1 ハードディスク（本製品）のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにあるハードディスク（本製品）のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

2 ハードディスクを取り外します。

4 フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法や、取り外しかたを説明しています。

フォーマットするときの注意

● フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチをOFFにしたり、リセットしないでください。
ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

● フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。
ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

● セキュリティロック機能を使っているときは、パーティションの作成やフォーマットはできません。【別冊「セキュリティロック・ユーティリティの使いかた」参照】

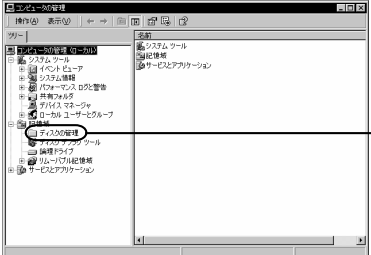
フォーマットのしかた

使用しているOSに応じて、次のページを参照してください。

・WindowsMe/98・・・・・・・・・・・・・・・・【P16】
・Windows2000・・・・・・・・・・・・・・・・・【P17】
・Macintosh・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【P22】

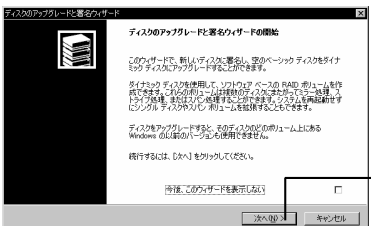
WindowsMe/98

本製品を使用する前に、「Disk Formatter」を使用してフォーマットします。

[スタート] ― [プログラム(P)] ― [MELCO DISK FORMATTER] ― [DISK FORMATTER] の順に選択すると、次の画面が表示されます。

⚠注意 **・フォーマットするドライブを間違えないでください。**
・FAT16からFAT32に変換する場合は、本製品をもう一度FAT32でフォーマットしてください。OSに付属の「ドライブコンバータ」でFAT16からFAT32に変換すると、エラーが発生し、FAT32に変換できない場合があります。

メモ ・2047MBを超える容量を1つの領域として確保する場合は、［ファイルシステム］に［FAT32］を選択してください。［FAT16］では、1つの領域は最大2047MBとなります。

・通常、物理フォーマットは行わないでください。フォーマットが完了するまでに長時間（20GBあたり約7時間）かかります。

・Disk Formatterに関する詳細は、別冊「Disk Formatterソフトウェアマニュアル」を参照してください。

Windows2000

⚠注意 **・付属の「Disk Formatter」は使用しないでください。Disk FormatterはWindows2000には対応していません。**
・Windows2000でパーティション（論理ドライブ）のファイルシステムにFAT32を使用する場合、1パーティションあたりの最大容量は32.7GBとなります。
・本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。

※ダイナミックディスクについては、Windows2000のヘルプを参照してください。

1 デスクトップにある［マイ コンピュータ］アイコンをマウスの右ボタンでクリックします。

2 メニューが表示されたら［管理(G)］をクリックします。

3

4 本製品をWindows2000で初めて使用する場合は、次の画面が表示されます。

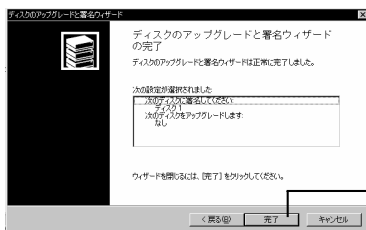
次のページへ続く

4 フォーマット

5 署名するディスクを選択します。

① ディスクをクリックしてチェックマーク（✓）を付けます。（例：ディスク 1）

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

6

［完了］ ボタンをクリックします。

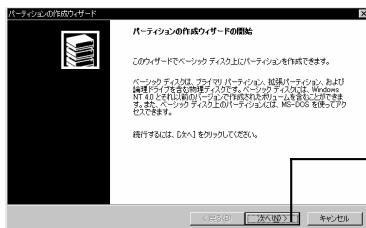
7

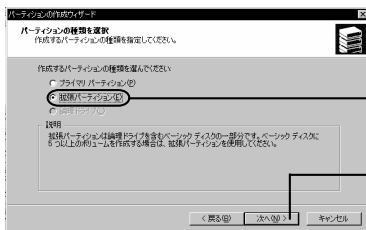
未割り当て領域が作成されます。

8

① 未割り当て領域をマウスの右ボタンでクリックします。

② メニューが表示されたら ［パーティションの作成(P)］ をクリックします。

9

［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

10

① ［拡張パーティション(E)］をクリックして（・）を付けます。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

11

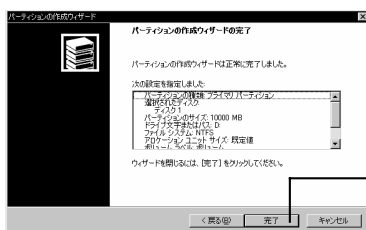
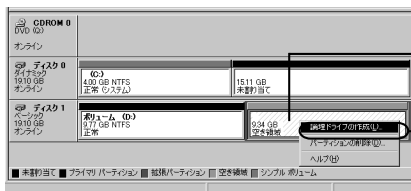
① ［使用するディスク領域(A)］ でサイズを指定します。

※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

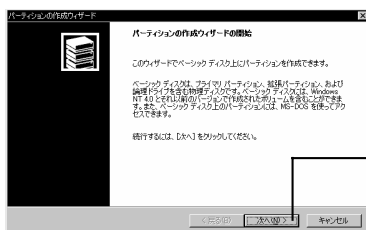
② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

12

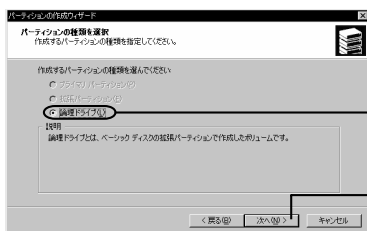
［完了］ ボタンをクリックします。

13

① 空き領域をマウスの右ボタンでクリックします。

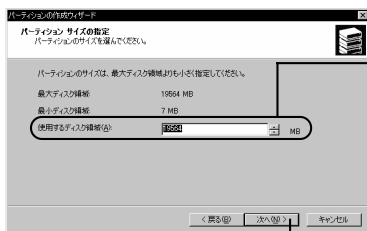
② メニューが表示されたら［論理ドライブの作成(L)］をクリックします。

14

［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

次のページへ続く

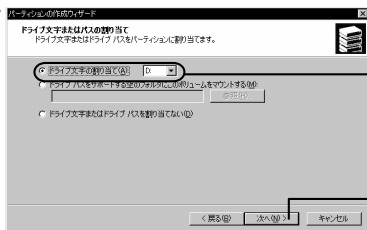
15

① ［論理ドライブ(L)］ が選択されていることを確認します。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

16

① ［使用するディスク領域(A)］ でサイズを指定します。

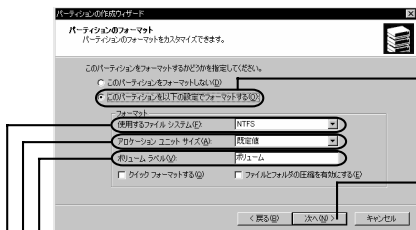
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。
ファイルシステムに FAT32 を使用する場合は、32700MB(32.7GB)以下の値を指定してください。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

17

① ［ドライブ文字の割り当て(A)］ で割り当てるドライブ名を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

18 フォーマット方法などを設定します。

① ［このパーティションを以下の設定でフォーマットする(O)］ をクリックし、(・) を付けます。

② 各項目を設定したら、［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

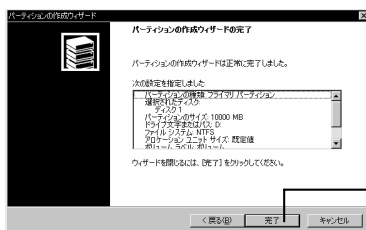
必要に応じて ［ボリュームラベル(V)］ を入力します。

［アロケーションユニットサイズ(A)］ は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

必要に応じて ［使用するファイルシステム(F)］ を変更します。（※）

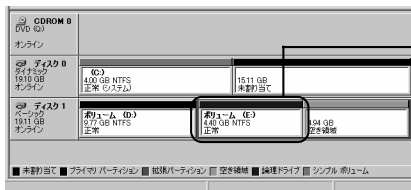
※ Windows2000だけで本製品を使用する場合や、32.7GB以上の容量のパーティションを作成する場合は、[NTFS]を選択してください。
マルチブート環境などで他のOSからアクセスするパーティションの場合は、[FAT]を選択してください。
ファイルシステムに関する詳細は、Windows2000のヘルプを参照してください。

⚠注意 本製品を初めてフォーマットするとき（本製品にパーティションが1つも存在しないとき）は、［クイックフォーマットする(Q)］にチェックマーク（✓）を付けないでください。チェックマーク（✓）を付けると、フォーマットが正常に終了しません。

19

［完了］ ボタンをクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

メモ フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたメニューの中の ［フォーマットの中止(F)］ をクリックします。

20

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

次のページへ続く

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK] ボタンをクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

1 作成したパーティションを右クリックして [フォーマット(F)] を選択します。

2 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

⚠注意 [クイックフォーマットする(Q)] にチェックマーク(✓)を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。

3 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 16 でサイズを指定し、以下手順 20 までを作成する数だけ繰り返します。

Macintosh

付属のソフトウェア「USB Storage Utility」を使ってパーティションを作成し、ハードディスクをフォーマットします。

⚠注意
- パーティションの作成(※)やフォーマットをすると、ハードディスク内のすべてのデータが消去されます。必要なデータは事前に他のメディアにバックアップしておいてください。
※既存のパーティションを作成し直す場合も含みます。
- ハードディスクをフォーマットするときは、弊社製の USB 接続ハードディスクをパソコンに 2 台以上接続しないでください。2 台以上接続すると、起動時にエラーメッセージが表示され、フォーマットできません。
- USB Storage Utilityの起動中は、ハードディスクの接続や取り外しを行わないでください。ハードディスクが正常に認識されないことがあります。
- [再検索]、[取り出し] ボタンは使用しません。

1 [MELCO HDD Utility] フォルダをダブルクリックします。

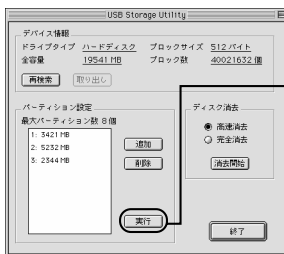
2 [USB Storage Utility] アイコンをダブルクリックします。

USB Storage Utilityが起動します。

3 ［追加］ ボタンをクリックします。

4

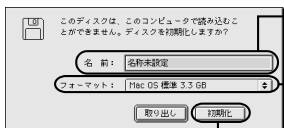
① パーティションのサイズを入力します。
② ［設定］ ボタンをクリックします。

5

① 手順3、4を繰り返し、作成するパーティションをすべて設定します。
② ［実行］ ボタンをクリックします。

メモ 一度設定したパーティションを削除するときは、 削除したいパーティションをクリックして反転表示にし、［削除］ボタンをクリックします。

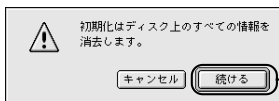
6 「注意!! 現在記録されているデータは完全に失われます。 続行してもよろしいですか?」 と表示されたら、［はい］ ボタンをクリックします。

7 「パーティション設定終了!! パーティションの初期化終了後に使用可能となります。パーティションの初期化を実行しますか?」 と表示されたら、［はい］ ボタンをクリックします。

8

① パーティションの ［名前］ を入力します。
② ［フォーマット］ を選びます。
※本製品はDOS形式ではフォーマットできません。
③ ［初期化］ ボタンをクリックします。

4 フォーマット

次のページへ続く

9

［続ける］　ボタンをクリックします。

10 作成したパーティションの数と同じ回数、手順 8、9 を繰り返します。

以上でフォーマットは完了です。

ディスク消去機能

USB Storage Utility のディスク消去機能を使うと、ハードディスク内のデータ（パーティション）をすべて消去できます。

メモ 既存のパーティションを残したままパーティション内のデータをすべて消去するときは、MacOS のフォーマット機能を使用してください。

1 USB Storage Utility を起動します。

2 [高速消去]を選び、[消去開始]ボタンをクリックします。

注意 通常[完全消去]は選ばないでください。消去が完了するまでに長時間かかります。

3 「注意!!現在記録されているデータは完全に失われます。続行してもよろしいですか?」と表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

完全消去中は経過時間（分、秒）が表示されます。

4 「消去終了!!パーティション設定 / 初期化終了後に使用可能となります。」と表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

5 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。

⚠注意 ハードディスクを使用する場合は、日常的にバックアップを作成してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- フロッピーディスク
- 光磁気ディスク（MO）
- 増設ハードディスク
- ネットワーク（LAN）サーバ
- CD-R/RW
- DVD-RAM

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限りMOなど容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

メモ Windows98付属のバックアップツールを使って、MOにデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計がMOディスクの空き容量を超えないようにしてください（Windows98付属のバックアップツールの仕様です）。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MOディスクの空き容量に納まるようにしてください。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windowsには、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ
・エラーのチェック方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
・Macintoshには、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windowsには、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

メモ
・最適化の方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
・Macintoshには、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

Disk Formatterのアンインストール（WindowsMe/98）

付属ソフト「Disk Formatter」が不要になったときは、以下を参照してアンインストールしてください。

⚠注意 WindowsMe/98からWindows2000へアップグレードするときは、必ず事前にDisk Formatterをアンインストールしてください。

1 ［スタート］－［プログラム(P)］－［MELCO DISK FORMATTER］－［アンインストーラ］の順に選択します。

2 以降は画面の指示に従って操作します。

以上でDisk Formatterのアンインストールは完了です。

Macintosh用ソフトウェアのアンインストール

Macintosh用ソフトウェア（ドライバ、USB Storage Utility、セキュリティロック・ユーティリティ）は、次の手順ですべて削除できます。

1 付属のCD-ROM「DUB-GTシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。

2 CD-ROM内の［DUB-GTシリーズインストーラ］アイコンをダブルクリックします。

3 「DUB-GTシリーズユーティリティインストーラ　処理を選択して下さい。」というメッセージが表示されたら、［アンインストール］ボタンをクリックします。

4 「アンインストール完了後に再起動しますがよろしいですか。」というメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

アンインストールが実行されます。

5 「アンインストールに成功しました。」というメッセージが表示されたら、［再起動］ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。

以上でソフトウェアのアンインストールは完了です。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="2">製品型番</th><th>DUB-GT20G</th><th>DUB-GT40G</th></tr>
<tr><td colspan="2">インターフェース</td><td colspan="2">USB</td></tr>
<tr><td colspan="2">準拠規格</td><td colspan="2">USB Specification Rev1.1</td></tr>
<tr><td colspan="2">コネクタ</td><td colspan="2">USB シリーズB コネクタ</td></tr>
<tr><td colspan="2">記憶容量</td><td>20GB</td><td>40GB</td></tr>
<tr><td colspan="2">セクタ容量</td><td colspan="2">512byte</td></tr>
<tr><td colspan="2">シークタイム</td><td colspan="2">最大11msec</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大転送速度</td><td colspan="2">12Mbps</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td colspan="2">44(W)×122(H)×216(D)mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td colspan="2">最大17W</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td colspan="2">AC100V 50/60Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作環境</td><td>温度</td><td colspan="2">5～35℃</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td colspan="2">20～80%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">対応機種</td><td colspan="2">USBコネクタを標準搭載する次のパソコン
・DOS/V機 (OADG仕様)
・NEC製 PC98-NXシリーズ
・Apple製 Power Mac G4シリーズ、Power Mac G4 Cube、
Power Macintosh G3シリーズ、
Power Book G3シリーズ ,iMacシリーズ、
iBookシリーズ</td></tr>
<tr><td colspan="2">弊社製USBボード（別売）を搭載したDOS/V機 (OADG仕様)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対応OS</td><td>DOS/V機
PC98-NXシリーズ</td><td colspan="2">WindowsMe、Windows98、
Windows98 Second Edition、 Windows2000</td></tr>
<tr><td>Macintosh</td><td colspan="2">Mac OS8.6～9.1</td></tr>
</table>

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

製品送付先　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号　052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター（裏表紙に記載）へお願いします。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスク内のデータは検査の際に削除いたします。また、ドライブユニットが故障の場合、同等のドライブユニットと交換させていただきます。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

本製品について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
・ 本機と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる
・ 本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・ この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

DUB-GTシリーズ ユーザーズマニュアル

2001年1月29日 第4版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

<東　京> 03-5350-7990

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

<名古屋> 052-619-1188

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）